

【6月1日～6月30日 届出】

ご結婚おめでとう

氏名	住所
安達 稔	滝野
秋場 由美	山形市
今野 大史	滝野
漆山 敦子	長井市
土谷 隆二	荒砥乙
渋谷 実菜子	米沢市
小川 直也	萩野
小林 詩乃	十王

こんにちは赤ちゃん

住所	父母の名	子の名
高玉	児玉 貴明 美穂	ゆな 奈
荒砥甲	橋本 勇輝 真弓	ゆづ 香

おくやみ

住所	氏名	年齢
鮎貝	筒井 タツノ	88
鮎貝	丸川 久彌	86
畔藤	衣袋 ち糸	84
鮎貝	井上 勝	66
鮎貝	金子 廣子	90
横田尻	丸川 よつ	93
畔藤	菅原 庄兵衛	87
畔藤	鈴木 味之助	89
荒砥甲	衣袋 まん	91
鮎貝	菅原 登美男	86
横田尻	齋藤 きよゑ	100

戸籍の窓に載せたい方は、届出のときに戸籍年金係にお申し出ください。

クローズアップ

途絶えかけた白鷹ならではの文化 歴史ある養蚕の物語をこの先も――

6月10日、養蚕の神とされる「馬鳴菩薩（めみょうぼさつ）」をまつる龍沢寺（十王・梅津晶一住職）において、養蚕の祈祷が約50年ぶりに行われました。



これは、山形市の呉服店「とみひろ」（富田浩志社長）が、「純山形産」の着物を作ることを目的に、十王地内で桑の栽培をしながら蚕を試験飼育していることから行われたもの。この日



①厳肅な空気の中行われた養蚕の祈祷 ②受け取ったばかりの蚕をじっくりと観察する蚕桑小学校の3年生

は、富田社長をはじめ、関係者ら約10人が参列し、養蚕の無事とともに養蚕文化の再起を祈りました。

また、前日の9日には蚕桑小学校で「蚕を迎える会」が行われ、地元の「蚕の先生」から約2千匹の蚕が3年生へ贈られました。

蚕を初めて見る子や苦手な子もいる中、蚕の先生である新野孝一さん（横田尻）は「今は苦手でも、育てていくうちに好きになってほしい」と優しく声をかけ、植木安路君と小松詩乃さんは「これから蚕を育てていくのが楽しみ。蚕の先生の話をよく聞いて、みんなと協力して大切に育てていきたい」と目を輝かせました。



表紙の写真

置賜三十三観音の一つである、町内畔藤地区の「杉沢観音」。その仁王門に奉げられている大わらじ作り及び奉納が、6月10～11日の日程で行われました。この大わらじは、約10年に一度の周期で掛け替えが行われ、今回は平成22年以來の作業。地域の方など約40人集まり、晴れ空の下でいねいにわらじ作りに励みました。完成した大わらじの大きさは約2メートルほど。その場の全員が見守る中、大人3～4人がかりで真新しいわらじが仁王門に取り付けられ、それぞれに身体の健護などを祈りました。